

金沢団地と生活拠点を結ぶ新たな移動手段づくりの試行について

1 目的

高齢化の進展や高齢者の運転事故多発に起因する運転免許証返納件数の増加などにより、これまで自家用車に依存してきた日常生活上の移動手段に変化が生じている市民や、自宅とバス停までの距離が遠く、路線バスなどの既存公共交通のみでは移動に支障を来す市民が増加する中で、地域住民と協働し、主に自宅と生活拠点や最寄りの交通結節点を結ぶラストワンマイル対策としての新たな移動手段づくりを試行し、利便性の高い公共交通ネットワーク体系の構築を目指す。

2 内容

- (1) 本市の地域特性の一つであり、高齢化が進む山側丘陵地に造成された大型住宅団地の中から、団地内中央部に商店や郵便局などの生活利便拠点を有する金沢団地を実証地に選定し、自宅と生活利便拠点との間を、低速で安全性に優れ、乗降りしやすい「グリーンスローモビリティ」を運行させる。
- (2) また、団地外の医院や大型商店などへの移動需要に応えるため、生活利便拠点を交通結節点として、団地内と団地外の目的施設を結ぶ「乗合タクシー」を併せて運行させる。

3 試行の概要

(1) 実施主体

金沢団地グリーンスローモビリティ活用委員会

- ア 金沢団地居住者（自治会役員経験者等）による高齢者の移動手段検討組織
- イ 市都市政策課が事務局を担当
- ウ 茨城県（交通政策課）がオブザーバーとして参画
- エ 日立製作所（地域協創推進室）に運行支援及び運行後の検証業務を委託

(2) 事業費

4, 997千円（9月補正予算に計上中）

- ア 茨城県「公共交通空白地域解消支援事業費補助金」を活用（補助率1/2）
（補助期間：令和2年度から令和4年度までの3年間）
- イ 国「グリーンスローモビリティ活用検討に向けた実証調査事業」に応募中
（採択の場合は、車両諸経費（移送費、ナンバー登録等）を国が支援）

(3) 使用車両等

ア グリーンスローモビリティ（4人乗り）2台

※ バス事業者（第二種運転免許所持者）に運行を委託

イ 乗合タクシー（5人乗り）1台

※ タクシー事業者に運行を委託

(4) 運行期間

令和2年11月2日（月）から令和2年11月30日（月）まで（1か月間）

※ 平日、土日祝日とも運行

(5) 運行時間

午前8時頃から午後4時頃まで（主に日中時間帯の高齢者の移動を支援）

(6) 運行方法

ア グリーンスローモビリティ 団地内定時定路線型運行（事前予約も実施）

イ 乗合タクシー 定時定路線型運行（団地内拠点と団地外指定目的地との間）

(7) 利用対象者 **利用データ収集対象者**

事前に会員登録をした金沢団地居住者（年齢制限等の要件なし）

(8) 利用料金

ア グリーンスローモビリティ 無料

イ 乗合タクシー 1利用100円（試行期間（1か月）フリー利用1,000円）

(9) 運行ルート等

別図1、別図2のとおり

4 試行後の事業化に向けた検討

地域の住民組織が運営を担い、持続的な自主運営が可能となるよう、3年後を目標年度に、住民組織の法人格取得及びグリーンスローモビリティ運行に係る自家用有償旅客運送許可取得を進めていく。

以 上

